

事業名	種豚改良		
予算区分	県単 (17,835千円)	担 当	改良技術研究室 養豚研究グループ
事業期間	継 続 (平成元年度～)	協 力 関 係	
事業目的	優良な繁殖用種豚を選定し、パークシャー種の種子豚及びパークシャー種・デュロック種の精液を生産・供給する。これにより岡山県産豚および「おかやま黒豚」(パークシャー種)の生産を推進して、岡山県の養豚振興を図る。		

○ 本年度事業のねらい

事業1 岡山県産豚の生産振興

(事業内容)

種子豚譲渡及び精液譲渡

1 種子豚譲渡は、パークシャー種子豚を生産し、背脂肪厚やロース芯面積の測定等により選抜した優良豚を県内生産者向けに安定的に供給する。

譲渡計画頭数 雄 5頭 雌 60頭

2 精液譲渡(パークシャー種・デュロック種)は、原則として毎週2回(月曜と金曜)翌日、農場に届くように精液を採取し、モデナ液で希釈して宅配便で送付する。

譲渡計画本数 1,800本

事業2 パークシャー種の種豚能力向上

(事業内容)

1 繁殖能力の向上

場内種豚の総産子数・生存産子数・離乳頭数・離乳時総体重を一般社団法人日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、成績上位の母豚から生まれた後継豚を保留する。

併せて、農家に供給した種子豚の総産子数、生存産子数、離乳頭数を調査し、黒豚の繁殖能力の検証を行う。

2 産肉能力の向上

種子豚の背脂肪厚及びロース芯面積の測定等により、高能力な優良豚を選抜し場内保留する。

3 外部導入

飼養豚の能力向上のため、繁殖能力や産肉能力の高い種豚を外部導入する。

○ 前年度までの成果

事業1 H28年度の岡山県産豚の生産振興

1 種子豚譲渡頭数

パークシャー種 雄 6頭 雌 103頭 合計 109頭(見込み)

2 精液譲渡本数

パークシャー種 : 1,201本 デュロック種 : 2,054本

合計 : 3,255本(H29.3.8現在)

3 繁殖豚の更新

繁殖豚は、次のとおり19頭更新した。

パークシャー種 : 雄6頭、雌13頭(うち県外導入雄1頭)

デュロック種 : 雄2頭(県外導入)

事業2 パークシャー種の種豚能力評価

1 繁殖能力

5産以上分娩した場内保留豚の繁殖成績を、H23年度産～平成25年度で比較した結果、総産子数(8.5頭→8.2頭)、離乳頭数(7.4頭→7.1頭)はやや減少していた。

平成28年度以降は、繁殖能力の低い母豚はより積極的に更新している。

2 種子豚の繁殖調査

・1産以下での廃用率は20%前後と高く、主な原因は、無発情、死亡、肢蹄障害であった。

・5産以上分娩した種子豚の繁殖成績は、産子数は低下傾向(8.1→7.7頭)だが、離乳頭数は横ばい(7.1→7.1)。